

平成28年度 第2回 川口市総合教育会議会議録

1 日 時 平成29年3月13日(月) 午後1時30分から2時30まで

2 場 所 川口市人財育成センター 3階 会議室

3 出席者(構成員6名)

(市長)		奥ノ木 信夫
(教育委員会) 教育長		茂呂 修平
	教育長職務代理者	山口 善子
	委員	齋藤 卓
	委員	宿谷 岩男
	委員	中田 裕之

(構成委員以外)

○市長部局

(市長室長)	清水 竹敏	(政策審議員)	小林 正明
--------	-------	---------	-------

○教育局

(生涯学習部長)	古澤 貢	(学校教育部長)	井上 清之
(学校教育部理事)	川田 稔	(教育総務課長)	五十嵐 洋充
(生涯学習課長)	稲垣 雅世	(文化財課長)	小川 順一郎
(中央図書館長)	本山 政志	(スポーツ課長)	別府 さつき
(指導課長)	大竹 伸明		

○事務局

(教育総務課長)	五十嵐 洋充	(教育総務課庶務係長)	大森 馨
(教育総務課庶務係主査)	栗原 栄	(教育総務課庶務係主任)	菅井 学

4 議 題

- (1) 開 会
- (2) 挨 拶
- (3) 議 事

ア 平成28年度 第1回 川口市総合教育会議の会議録について

イ 教育行政経営の基盤強化

・生涯学習施設の耐震化状況について

ウ 地域におけるさまざまな資源の活用

・旧田中家住宅の利活用について

(4) その他

(5) 閉会

5 議事の要旨

【開会】

事務局（教育総務課長）

定刻になりましたので、ただ今より、平成28年度第2回川口市総合教育会議を開会させていただきます。

私は、事務局を努めさせていただきます、教育総務課長の五十嵐と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

始めに、本日の傍聴希望者でございますが、1名の方が傍聴希望でいらっしゃっております。本日の議題には、個人情報取り扱い等、会議を非公開とする内容は予定していないことから、入室いただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

委員

了承

【傍聴者入室】

事務局（教育総務課長）

それでは、始めに、奥ノ木市長から、ご挨拶を頂きたいと存じます。

【挨拶】

奥ノ木市長

皆様、本日は年度末のお忙しいところ、本年度の第2回川口市総合教育会議にご参集いただきありがとうございます。

早いもので、本年度も残すところわずかとなってまいりました。まだ寒い日が続いておりますが、お身体には十分お気をつけください。

さて、私は市長就任後、この2月で3年が経過したところでございます。皆さまに公約した諸施策は、順調に進んでいるところであります。ひとえに教育委員さんのご指導・ご支援の賜物でございます。本当にありがとうございます。

中核市についてでございますが、来年4月1日の中核市移行に向け、現在準備を進めているところでございます。川口市は政令市を除くと全国で船橋市、鹿児島市に次ぐ3番目であり、また政令市を除いた市の10番以内の中で中核市に移行していないのは、川口市と松戸市であります。さらに50番まで見ても中核市に移行していないのは7市ほどしかないのが現状であります。

県の保健所と市の保健所がどのように違うのか、よく把握されていない方が多いのですが、市で保健所を行えば、職員が市の職員になり対応が早くなります。たとえば、今後2020年にオリンピックを控え、民泊が増えることが見込まれ、その許認可を行うこと。また、感染症の対策も市で解決できるなど、県の行政が市の行政として行うことができるので、とても便利になるということをご理解いただければと思います。

一方、教育に目を向けますと、川口市立高等学校が来年4月に開校になります。茂呂教育長をはじめ、教育委員の皆さまには今後益々色々な面でご指導賜ることになると思いますが、是非よろしくご願ひ申し上げます。先日、入試の倍率を見ましたが、市立川口は昨年の1.24倍が1.48に、県陽高校は1.46倍が1.54倍に、総合高校は1.60倍が1.55倍であり、総合的に1.5倍をクリアしているのが現状で、人気が高まったのかなと思っております。

また、小中学校のエアコンにつきましても、平成28年6月までに設置が完了したところではありますが、児童生徒をはじめ、保護者にも喜んでいただいているところであります。

先日、領家地区に火事があったのですが、火事現場に駆けつけ、被災者の見舞いを行いました。被災者が寝泊りするところがなく困っていたので、公民館を開館していただき、被災された方々に安心して一晩すごしていただくことができました。対応された職員の皆さまには、感謝いたします。

このような諸施策の基盤となる予算につきましては、市長就任以来3年間で344億円積み増しができ、平成29年度は1,916億円計上ができました。その原資は税収ですが、川口市は収納率が全国で最低水準であったため、収納率のアップに力を入れさせていただきました。収納率が89.4%から93.8%になり、平成26年度から3年間で97億円税収を増加することができました。

中核市への移行や新市立高校の開校等、大きな節目となる平成30年度に向けて、この準備が大変重要であると考えておりますことから、今後も、教育委員会の皆さまとともに取り組んで参るところでございます。

私は、「弱いところに光をあてる」、「公平公正」という政治心情の下、多くの方から選ばれる元気な川口市の実現のため、市政運営に努めているところでございます。

先日、新聞を見て喜んだのは、川口の建売りが全国で一番売れているという記事がありました。売れているとういことは、選ばれていることであると思います。川口市が選ばれた元気なまちになるために、教育委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただくことをお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

【議事】

事務局（教育総務課長）

どうもありがとうございました。

次に、「議事」に移らせていただきます。ここからの議事進行につきましては、奥ノ木市

長にお願いしたいと存じます。

議長（奥ノ木市長）

それでは、これより私が議事の進行を努めさせていただきます。

始めに、議事の（１）「平成２８年度 第１回川口市総合教育会議の会議録について」でございますが、第１回会議録については、事前に事務局より配付させて頂いておりますが、この内容について、修正等のご意見はございませんか。

【「異議なし」の声】

議長（奥ノ木市長）

意義なし、とのお声を頂きましたので、平成２８年度 第１回川口市総合教育会議の会議録については、お手元のとおりとさせていただきます。

なお、会議録の署名人については、川口市総合教育会議運営要綱第１０条第２項の規定により、市長である私から２名の方を指名させていただきます。

第１回会議録の署名人については、宿谷委員と、中田委員のお二人をお願いいたします。

続きまして、議事の（２）『教育行政経営の基盤強化』、及び（３）『地域におけるさまざまな資源の活用』について、話をしていきたいと思っております。

この２点は、本年４月に策定した、川口市教育大綱の基本目標の項目の一つであります。本日は、この基本目標について、本市の現状を教育委員会から説明いただいた上で、皆様と意見交換をしていきたいと考えております。

それでは始めに（２）『教育行政経営の基盤強化』の、「生涯学習施設の耐震化状況について」、教育委員会より説明をお願いいたします。

茂呂教育長

それでは、『（２）教育行政経営の基盤強化』の「生涯学習施設の耐震化状況について」、ご説明申し上げます。

これまで、本市では、小中学校を優先に耐震化事業を進めてきたところでございます。この後、現地視察いただく幸町小学校の完成により、学校の耐震化事業が今年度末で完了することから、公民館をはじめとする各生涯学習施設の耐震化の現状についてご報告させていただきます。

それでは、資料の１ページをご覧ください。

１ 公民館等の施設についてご説明申し上げます。

生涯学習課が所管している施設は、公民館が３３館、これに中央ふれあい館、婦人会館、青少年会館と南平文化会館を加えて全部で３７施設であり、利用者の安全性に配慮し、計画的な改修を進めているところでございます。

はじめに、ア 平成28年4月1日までの耐震化状況でございますが、対象の37施設のうち、新耐震基準を満たしている施設は10施設、旧耐震基準のうち補強不要な施設が1施設、また、施工済施設が9施設となっております。従いまして、耐震化完了済み施設は20施設となり、耐震化率は54.1%であり、今後補強を行う必要がある施設は残る17施設でございます。

次に、イ 平成28年度実施内容でございますが、幸栄公民館につきましては、幸町小学校と合築により、本年2月末に工事が完了したところでございます。そのほか、芝南公民館をはじめ、上青木公民館、新郷南公民館、領家公民館は、保育所やスポーツセンターとの合築により工事を進めているところでございます。また、婦人会館・青少年会館につきましては、労政関係施設も含めた複合施設として、実施設計中であり、平成31年3月完成予定で、今後改築工事を進めてまいります。

2ページをご覧ください。

ウ 平成32年4月1日時点での耐震化状況でございますが、婦人会館・青少年会館が合築により統合されることから対象施設数は36施設となり、そのうち、ただいまご説明申し上げました、幸栄、芝南、上青木、領家、婦人会館・青少年会館の5施設が完成し、新耐震基準施設は5施設増加して15施設となります。

従いまして、耐震化完了済み施設は25施設、耐震化率は69.4%になる見込みでございます。これにより残る11施設につきましては、今後補強が必要な施設となります。

続きまして、エ 耐震化事業に係る主な費用でございますが、幸栄公民館の改築工事費は、8億3千856万3千840円でございます。なお設計委託料は幸町小学校と一体で実施したため記載しておりません。以下、芝南公民館から婦人・青少年会館につきましては、記載の金額となっております。

続きまして、2 文化財センター等についてご説明申し上げます。

ア 平成28年4月1日までの耐震化状況でございますが、文化財課が所管している施設は全部で文化財センター本館、分館旧田中家住宅、分館郷土資料館の3施設あり、文化財センター本館が平成26年度に耐震補強工事を完了しておりますことから、耐震化率は33.3%でございます。

3ページをご覧ください。

イ 平成28年度実施内容でございますが、旧田中家住宅につきましては、更なる利活用を検討する上で、利用者の安全性確保と震災時の緊急輸送道路「国道122号線」の機能確保の必要性から、耐震診断を行っているところでございます。

次に、ウ 耐震化事業に係る主な費用でございますが、文化財センター本館耐震補強工事の費用は4千427万6千268円でございます。

続きまして、3 図書館についてご説明申し上げます。

ア 平成28年4月1日までの耐震化状況でございますが、中央図書館が所管している施設は全部で中央、前川、新郷、横曽根、戸塚、鳩ヶ谷の6施設あり、そのうち新耐震基準施設は中央、戸塚、鳩ヶ谷の3施設、旧耐震基準のうち補強不要な施設は新郷の1施設、

補強が必要な施設は前川、横曽根の2施設でございます。従いまして、耐震化完了済み施設は4施設であり、耐震化率は66.7%でございます。

次に、イ 平成28年度実施内容でございますが、前川図書館につきましては、市営前川住宅の建替えに併せ、現在の同住宅の位置に移転し合築する計画で、今年度は実施設計を行っており、本年3月完了予定でございます。

次に、ウ 耐震化事業に係る主な費用でございますが、前川図書館改築事業に係る実施設計につきましては、契約金額3千252万7千980円で現在進行中でございます。

4ページをご覧ください。

続きまして、4 スポーツセンター等についてご説明申し上げます。

まず、ア 平成28年4月1日までの耐震化状況でございますが、スポーツ課が所管している施設は全部で13施設あり、そのうち新耐震基準施設は東、西、戸塚、鳩ヶ谷、根岸体育館の5施設、旧耐震基準のうち補強不要な施設は体育武道センター、安行の2施設、旧耐震基準のうち施工済み施設は鳩ヶ谷武道場の1施設でございます。従いまして、耐震化完了済み施設は8施設であり、耐震化率は61.5%でございます。

次に、イ 平成28年度実施内容でございますが、新郷スポーツセンター及び青木町公園総合運動場陸上競技場につきましては、耐震診断の結果、耐震力が不足していることから今年度は実施設計を行っており、本年3月完了予定でございます。

次に、ウ 耐震化事業に係る主な費用でございますが、鳩ヶ谷武道場に係る実施設計に388万5千円、補強工事に7千759万5千円、新郷スポーツセンターに係る実施設計につきましては、契約金額1千810万4千400円、青木町公園総合運動場陸上競技場に係る実施設計につきましては、契約金額1千75万6千800円となっており、2施設につきましては、現在進行中でございます。

説明は、以上でございます。よろしく願いいたします。

議長（奥ノ木市長）

ただ今、茂呂教育長から「生涯学習施設の耐震化状況について」、説明がありましたが、これらについて、補足や、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

中田委員

平成28年度の前定は分かりましたが、次年度以降の計画はあるのでしょうか。

生涯学習部長

これまで小中学校の耐震化を最優先に取り組んできましたが、これらが概ね終了したことから、今後は大人から子どもまで利用しております生涯学習施設について、財源を含め中長期的な耐震化計画を策定していきたいと考えており、今回、生涯学習施設の現状を報告させていただいたものでございます。

議長（奥ノ木市長）

新郷スポーツセンターの設計をやり直したが、そのようなことはよくあるのでしょうか。

スポーツ課長

工程の中で実施設計に建物調査が入っており、外の壁を剥がしたところ腐食が予想以上に進んでいる状況であったため、再度、追加調査を行ったものです。その結果、設計変更が必要となったものでございます。施設がかなり老朽化していたため、設計変更になる可能性があるということは、事前に建設部から聞いておりました。

議長（奥ノ木市長）

他にご意見はございませんか。無いようですので、次の議題に移らせて頂きたいと思っております。

それでは、「(3) 地域におけるさまざまな資源の活用」の「旧田中家住宅の利活用について」、教育委員会より説明をお願いいたします。

茂呂教育長

「(3) 地域におけるさまざまな資源の活用」の「旧田中家住宅の利活用について」、ご説明申し上げます。

資料5ページをご覧ください。

始めに旧田中家住宅の概要でございしますが、国登録有形文化財旧田中家住宅は、大正12年建築の煉瓦造3階建の洋館棟をはじめ、和館棟、文庫蔵、茶室棟、日本庭園などから構成されており、一般公開と文化活動等への貸室提供を行い、今日に至っております。

次に、2「今後の課題」でございしますが、記載のとおり、来館者の安全性を確保する必要性等から、耐震診断を行った後補強工事等の措置を講ずる必要がございます。

次に6ページをご覧ください。3「施設利活用の方向性」についてでございしますが、本建物は、当初、国の重要文化財に指定される価値もあると言われておりましたが、その文化財の魅力を多くの人に感じてもらえるよう活用を図るため、改修の規制が緩やかな国登録有形文化財に登録することを選択した経緯がございます。また、取得当初の市民アンケートにも、博物館やギャラリー、レストランやカフェ等への活用希望がございましたことから、今後、新たに保存管理活用計画をたて、文化財としての価値を維持したうえで、登録外建物を中心に改修を行い、地域活性化の拠点として更なる利活用を図って参りたいと存じます。

次に、4「利用状況」は記載のとおりで、平成28年度は、開館10周年記念の各種団体との共催イベントを実施し、見学者数、入場料歳入、施設利用者数、使用料歳入がいずれも前年度を大きく上回っております。

続きまして7ページをご覧ください。5「民間まちづくり実践セミナーの実施状況」でございしますが、去る1月28日（土）、2月11日（土）両日、市長にもごあいさつをいた

だき、中央ふれあい館で同セミナーが開催されました。19人の参加者が、現地調査やワークショップを行い、専門家のアドバイスを受けながら、旧田中家住宅のさらなる利活用について、茶室棟をカフェや割烹料理屋、フォトスタジオ等として利用すること、川口の文化発信拠点にすること、イベントによる収益をあげることなど、資料に記載の通り、実効性の高い様々な提案が出されました。

また、これらの提案の具現化に当たり、当日指導に当たりました講師陣から、今後検討すべき重要な方策として、「人材育成」や「運営組織作り」、「市民と行政との連携の構築」などが必要との見解が示されました。今後、これらの見解を、次年度策定を予定しております「保存管理活用計画」におきまして、大いに反映させてまいりたいと考えております。

議長（奥ノ木市長）

ただ今、茂呂教育長から「旧田中家住宅の利活用について」について、説明がありましたが、これらについて、補足や、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

議長（奥ノ木市長）

田中徳兵衛氏の旧邸宅を市が買い取ったもので、素晴らしい建物であり、関東大震災前から建っており、著名な建築家が建てたものでございます。国道122号線が緊急輸送道路であることから、現在、建物の耐震補強を進めているところであります。

今年度は、どこまで行っているのでしょうか。

文化財課長

現在、耐震診断を実施中で、もう少しで結果が出るところでございます。

議長（奥ノ木市長）

その結果に基づいて、今後、どのようにしていくか検討していくということによいでしょうか。

文化財課長

そのとおりでございます。

議長（奥ノ木市長）

耐震補強が終了した際には、もう少しPRをしていきたいと考えているところです。

先ほどカフェ等の話しがありましたが、奥にある茶室が改装可能であることから、活用を検討していこうということです。

山口委員

利用状況を見て、今年度は前年度に比べて利用者が増加していますが、入場料は大人2

00円だったと思いますが、子どもはいくらだったのでしょうか。

文化財課長

子どもは、50円でございます。

山口委員

どのような方の利用が増加しているのでしょうか。

文化財課長

今年度は、文化財登録10周年の記念事業を行ったことから、利用者が増加したものでございます。大人、子ども両方とも増加している状況でございます。

山口委員

26年度、27年度と利用状況が横ばいであったが、28年度はイベントを行った結果、1.5倍程度増加したので、活用の明るさが見えたかなと感じております。

私が子どもの頃からある建物なので、市長がおっしゃるように安心・安全は必要だと思います。

中田委員

資料7ページに「民間まちづくり実践セミナー実施状況」が掲載してありますが、主催の政策研究大学院大学とは、どのような大学なのでしょうか。

山口委員

元々、政策研究学部というものが埼玉大学にあり、それを国が引き取り大学を作り、現在、独立行政法人が運営している大学だったと思います。

生涯学習部長

政策研究大学院大学が主催している、古い建物の利活用について検討している「民間まちづくり実践セミナー」というものがあるということを都市計画部から提案いただき、その題材として、旧田中家住宅を取り入れてもらい検討していただいたものでございます。

山口委員

セミナーの状況で、2グループ19人とあるが、全て民間の方なのでしょうか。

生涯学習部長

セミナー当日は、4グループで行い、その内2グループが旧田中家住宅について提案を行いました。旧田中家住宅の参加者は美術関係、建築関係、工事関係など、全て民間の方

でございます。

山口委員

大学が参加者を募集して行ったのですか。

生涯学習部長

そのとおりでございます。

議長（奥ノ木市長）

それでは、概ね意見交換ができましたので、議事については、このあたりで終了とさせていただきます。

本日意見交換をいたしました『教育行政経営の基盤強化』と『地域におけるさまざまな資源の活用』については、川口市教育大綱にかかげている『一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさそなえた人材を育てる 川口の教育』を推進していく上で、大事な取り組み項目であり、川口市が、元気なまち、選ばれるまち、になるための重要な視点であると思います。こうしたことから今後ともオール川口となってこれらの件に取り組んでいく必要があると思っておりますので、教育委員会においても重点的に取り組んでいって頂きたいと思っております。

議長（奥ノ木市長）

それでは、議事につきましては、以上でございますので、進行を事務局に返します。

事務局（教育総務課長）

奥ノ木市長ありがとうございました。

【その他】

事務局（教育総務課長）

その他ですが、何かございますか。

茂呂教育長

市立高校3校の入試の結果をお知らせいたします。

市立川口高校は、募集人数240名で合格者246名の1.48倍。県陽高校は、募集人数120名で合格者123名の1.54倍。総合高校は募集人数160名で合格者164名の1.55倍でした。

【閉会】

事務局（教育総務課長）

それではこのあと、幸町小学校・幸栄公民館の現地視察を行いますので、もう少々お待ちください。

本日はお忙しいところ会議にご出席いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。平成29年度の総合教育会議につきましても、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

以上で、平成28年度 第2回川口市総合教育会議を閉会とさせていただきます。